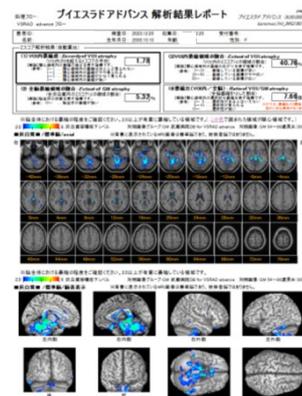
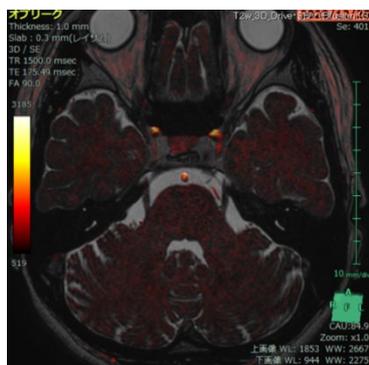
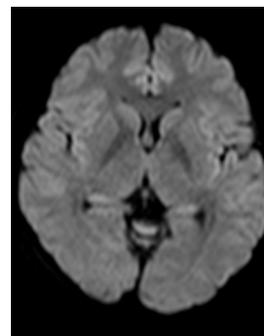
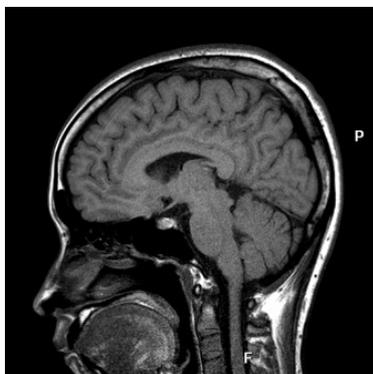
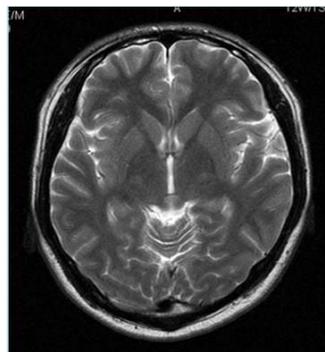
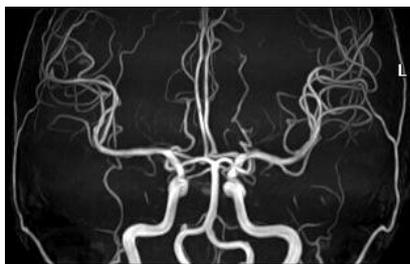


当院の主な MRI 検査

頭部検査

頭蓋内病変（脳梗塞、脳出血、脳腫瘍など）を診断するための検査です。造影剤を使用しなくても血管を明瞭に描出できるため、脳動脈瘤や血管の狭窄などの診断にとっても有用です。

また MRI の検査データを使用し、脳の萎縮を調べることができる「VSRAD(ブイエスラド)」によって、早期アルツハイマー型認知症診断の支援が可能です。

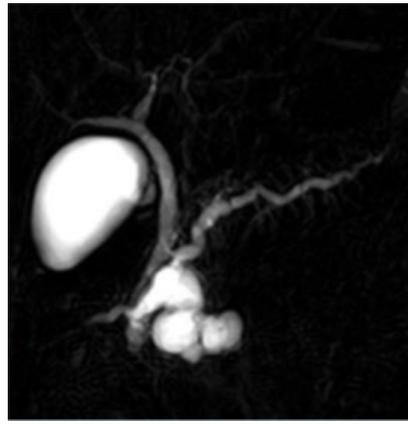
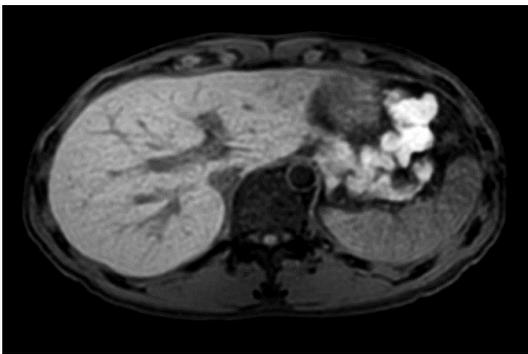


VSRAD

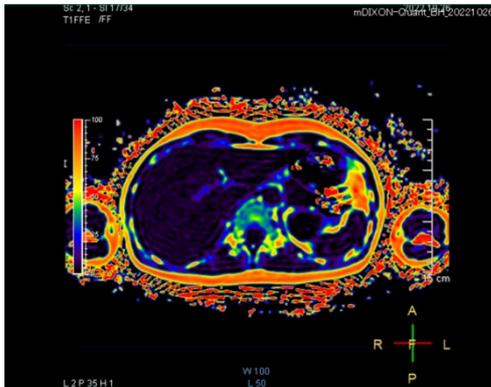
腹部 MRI 検査

肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓などの病変を診断する為に行う検査です。呼吸の動きに合わせて撮影をしたり、息を止めて撮影を行います。

腹部 MRCP 検査では造影剤（静脈注射）を使用することなく胆嚢・胆管・膵管などを高信号で描出します。胆石、胆管結石や膵臓の嚢胞性病変（IPMN など）、嚢胞性腫瘍の検出、膵管の拡張・狭窄・膵臓の萎縮の評価等の画像診断に有用です。



MRCP



脂肪肝の定量評価

骨盤 MRI

子宮、卵巣、膀胱、前立腺などの病変を診断するために行います。特に婦人科領域では MRI の特徴である組織コントラストが良好で CT では困難な正常解剖の把握や疾患の鑑別に有用です。子宮筋腫と内膜の識別や卵巣腫瘍の鑑別診断などに優れており、多断面の撮像が可能になります。

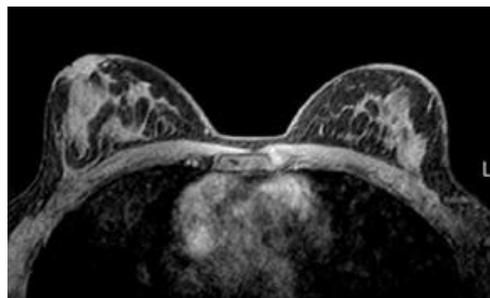
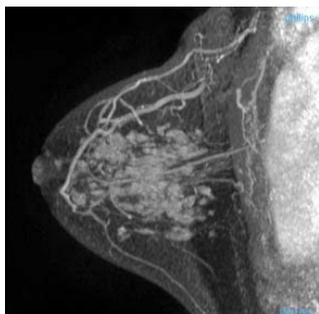
骨盤臓器脱の診断には骨盤 cine MRI（動的 MRI）を撮像します。安静時から腹圧をかけた状態までを動的に撮影する MRI です。骨盤内の下垂の状態（膀胱、子宮、直腸）を一元的に評価することができます。



子宮

乳房 MRI

乳房 MRI 検査では、うつ伏せの態勢になって頂きマンモコイルの2つの穴に乳房を入れて検査をします。X線撮影のマンモグラフィーのように乳房を圧迫することが無いため痛みはありません。良悪性の鑑別や乳がんの広がり診断に優れており、基本的に造影剤を使用して検査をおこないます。検査時間は30～40分程度です。



脊椎 MRI

脊髄、椎間板などを鮮明に描出することができ、しびれや痛みの原因となる椎間板ヘルニアや圧迫骨折、転移性腫瘍、脊椎変性疾患などの診断に有用な検査です。



腰椎



頸椎

四肢 MRI

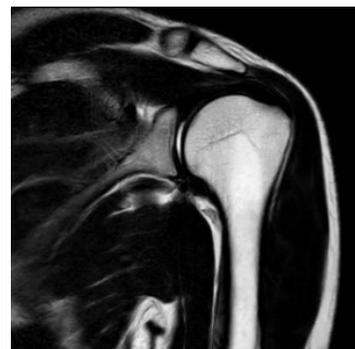
骨や軟部組織（筋肉、腱、靭帯）の観察に適しており、さらに任意の断層面の撮像ができるため非常に多くの情報を得ることができます。また、靭帯損傷や骨折、炎症が生じている範囲や腫瘍の診断に有用な検査です。



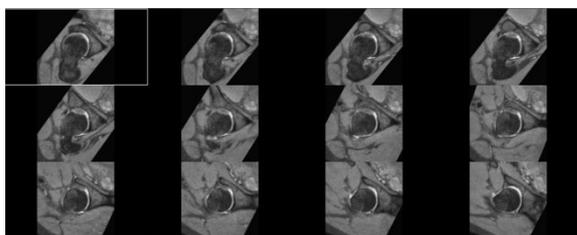
膝関節 (Bone like Image)



膝関節



肩関節



股関節 (放射状撮像)



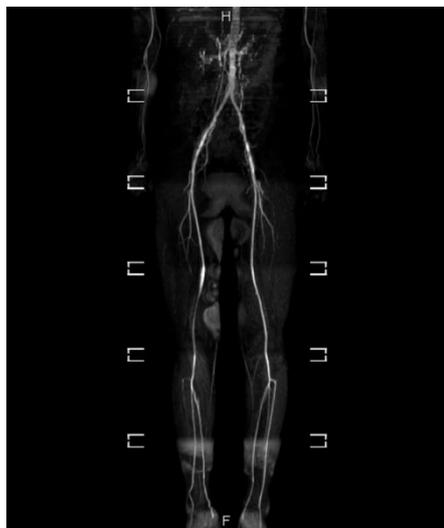
大腿骨

MRA 検査

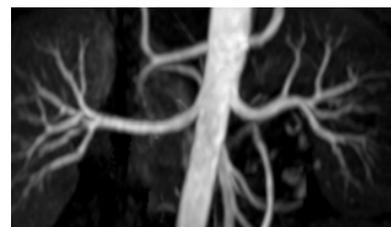
MRA(MR Angiography)は造影剤を使用せず脳血管、頸動脈、下肢動脈や静脈などの血管描出を行うことができ、血管の狭窄・閉塞性疾患、動脈瘤、動静脈奇形などの診断に優れています。



頸動脈



下肢動脈



腎動脈